

科学五輪目指し中2合宿

山梨で育成塾 松本秀峰生も

全国から集まった中学2年生が、合宿しながらノーベル賞学者らの講義や実験で学び、科学オリンピックを目指す「創造性の育成塾」が4日、山梨県富士吉田市で始まった。

長野を含む16都道府県から約40人が参加。初日はノーベル化学賞の野依良治さんらが登場。フィールズ賞を受けた数学者森重文さんは、微分積

分が医療機器などに応用されていることなどを紹介、「数学



科学オリンピックを目指す「創造性の育成塾」で、講義を受ける全国から集まった中学2年生。4日、山梨県富士吉田市

は多くのものの裏で役立っている。数学との付き合い方を「知ることが重要だ」と話した。合宿は7泊8日で、宇宙飛行士や大学教授らの講義を受けるほか、中学教諭による理科の実験や富士山の自然観察に取り組む。

参加した松本秀峰中等教育学校（松本市）の水木陽菜さん（13）は「安曇野市は、専門的で難しいけれど、学校に戻ってレポート展示するので、百パーセント吸収しよう」とメモを取った。数学も深く追究すると楽しいと思った。いろいろな知識を取り入れて、将来に生かしたい」と話した。